

名古屋アイリスロータリークラブ

RID2760 THE ROTARY CLUB OB NAGOYA IRIS

～ ロータリーに輝きを LIGHT UP ROTARY ～

2014-15 年度国際ロータリー会長 ゲイリー C.K ホエン

例会日:毎週水曜日 13:00～14:00

例会場:ANA クラウンプラザ グランコートホテル名古屋

創 立:2013 年 6 月 5 日

会 長:荒山 久美 「進化するアイリス」



■ 斉唱 国歌

「奉仕の理想」

■ 司会 青木恭子

■ 出席者報告

会員数 : 33 名

出席者 : 26 名 出席率 : 78.78%

前々回 (第 64 回) 修正出席率 78.78% (26/33)

前々々回 (第 63 回) 修正出席率 87.87% (29/33)

■ 本日のゲスト・ビジター紹介

国際ロータリー第 2760 地区ロータリー財団副委員長 吉原孝彦氏

■ ニコボックス報告

荒山久美 会長

吉原さま、本日は宜しくお願い致します。先々週の女子会は楽しかったので、又、やりたいと思います。

藤森 淳 幹事

吉原さん、卓話御願ひ致します。

八神 基 直前会長

吉原さん 本日はお越しいただきありがとうございます。

青木恭子会員

紅葉をみてきました。2泊で高鷺村に行って秋晴れのドライブで健康をとりもどしました。黄色のハゼが4割、紅葉が2割でした。

長谷川芳子会員

10 月 31 日に大須でギャラリーをオープンしました。24 日まで建築家宇野亨 (すすむ) 展をひらいていきますので、是非遊びにいらして下さい。ご自身や知り合いで個展を開かれる方がいらっしゃいましたらご紹介下さい。テーブルにパンフレットをおいてあります。よろしくお願いします。

ボルジド会員

タイのパトゥワンロータリーにメイキャップに行きました。

■ 会長挨拶

11 月はロータリー財団月間です。

本日は地区の財団副委員長であられる吉原様にお越しいただきました。後ほど『「改革」～新しいロータリー財団』というテーマで卓話をいただきます。

昨年は名古屋北 RC の矢形様に財団についてご教授いただきましたが、会員の皆様覚えていらっしゃるでしょうか？当クラブは設立 3 年未満のクラブですから、まだまだモラトリアム期間ではありますが、聴いたけど忘れたという会員も、去年は欠席して知らないわという会員も再度巡ってまいりましたこの貴重な機会を大切にいただき、財団について勉強するとともによくよくご理解いただきたく思います。

またまた偉そうにしておりますが、私も 3 年未満の会員の 1 人です。ハンドブックやロータリー百科事典から抜粋してまいりましたので、今日は少しだけ『ロータリー財団の父：アーチ・クランプ』につ

いてお話しします。1869 年生まれのアーチ・クランプは、人生の殆どをオハイオ州クリーブランドで過ごしました。12 歳のときに家計を助けるため学校を退学しましたが、夜学へ通い、また独学で学力を磨きました。18 歳で製材所の雑用係として職につきましたが、もともと「出来る男」且つ、「持っている男」だったのでしょう。またたく間に昇進し、総支配人、経営者になり、オハイオ州における実業界で大いに活躍しました。クリーブランド RC 所属の彼は、RI 会長だった 1917 年の国際大会で「ロータリーが基金を作り、全世界的な規模で慈善、教育、その他、社会奉仕の分野で、何かよいことをしようではないか」と提案。この基金はカンザスシティ RC からの 26 ドル 50 セントの寄付金から始まりました。次の寄付はサンフランシスコ RC から寄せられました。と、このような小さな寄付金から基金が発展していきました。当時は戦時下でもあったため、紆余曲折を経ましたが、1928 年にこの基金は「ロータリー財団」と改称され、世紀を超えて奉仕活動においての大きな存在となっているのです。21 世紀に入って僅かに 14 年ですが、ロータリーという奉仕の理想に結ばれた世界規模の職業人達の親交によって引き継がれ、今後も何世代にも幾世期にも亘るロータリアンの活動となっていくことでしょう。

■ 卓話 「改革」～新しいロータリー財団

国際ロータリー第 2760 地区ロータリー財団委員会副委員長吉原孝彦様より、「ロータリー財団月間」の卓話として、

ロータリー財団の歴史、基本的な仕組み、新たな取り組み等について、ご説明いただきました。

1. ロータリー財団は、その成長とともに、「世界中でよいことをするために」という創設者の精神を実現するために、「国際親善奨学金」、ポリオ撲滅のための「ポリオプラス・プログラム」の設置、「ロータリー平和フェローシップ」創設など、様々な財団プログラムを実施してきましたが、
2. 2013 年、世界中のロータリアンがグローバルな

ニーズに応えられるよう、新しい補助金モデルとして、「地区補助金」「グローバル補助金」を導入しました。

3. 地区補助金は、地元地域や海外の地域社会のニーズに取り組む、比較的小規模で短期の活動を支えるための補助金です。地区に一括で支給され、補助金をどの活動に使うかは、各ロータリー地区が決定します。
4. グローバル補助金は、ロータリーの 6 つの重点分野（①平和と紛争予防／紛争解決、②疾病予防と治療、③水と衛生、④母子の健康、⑤基本的教育と識字率向上、⑥経済と地域社会の発展）のいずれかに該当する、持続可能で、その活動成果を測定できる、大規模な国際的活動（人道的プロジェクト、大学院レベルの留学の奨学金、職業研修チーム（VTT）など）を支えるための補助金です。
5. 名古屋アイリス RC でも、こうした補助金を活用した活動を企画、実施して行って下さい。

また、こうした活動を支える寄付にも、一層のご協力をお願いします。

■ 幹事報告

1. 11 月の例会の日程について
2. 名古屋北 RC との研修会について
3. 今月末までに、クリスマス会の景品を持って来て下さい。